

菊
163

享保拾一年丙午焦記

今已往也... 人押... 焦記... 享保拾一年... 丙午... 焦記... 享保拾一年... 丙午... 焦記...

富山大学
菊池文書

585

Faint vertical text or bleed-through from the reverse side of the page.

御在留所見合兼所為場為教生亦見合之様平礼西之と物
能下之者大相波所為所之西之御持之者大其病見合之様
十位利御信通平様取之者大其病見合之様
村之由者之為粒沙結方之御信通平様取之者大其病見合之様
為助之者大相波所為所之西之御持之者大其病見合之様
今已後通所之人之様と云ふも大其病見合之様
意之及合之者大相波所為所之西之御持之者大其病見合之様
人押之者大相波所為所之西之御持之者大其病見合之様
御之者大相波所為所之西之御持之者大其病見合之様

方丈之紙は清書有月可持出ル也

丙午
正月

永原清長殿

中 孫丞殿

右通仲成而若原初有持其意ナリ其内請村孫丞徳組大

苗糸札取リ之ニ申成而之紙急ニテ授申更申有取至ナリ

勿得取取リ之申成而之紙急ニテ授申更申有取至ナリ

享保十一年正月

和名取村

長年

高丸村

長次郎

戸出村

又右殿

此紙は原田村孫丞之紙也其意急ニテ授申更申有取至ナリ

永原清長殿

中 孫丞殿

當二月十六日田井村迄前若澤橋村宅助村井村右殿與之原成

此中奉紙取リ之申成而之紙急ニテ授申更申有取至ナリ

波取申同孫丞名取之急者二月二日御九日原成申之申成

此個之取入 申成申之申成申之申成申之申成申之申成

此又一身之申成申之申成申之申成申之申成申之申成

此又一身之申成申之申成申之申成申之申成申之申成

万例を通りて其處に所設水田は山京に水為檢申目錄以後の上
 年迄に未とて者之れ申目錄入 申設上等、今年迄の
 其、石好、水、申、大、功、成、使、合、難、有、為、自、深、寅、加、の、極、の、中、年、好、者
 申設

二月十六日、御幕用場、諸部、申、札、之、列、去、年、と、比、違、恐、之、通、
 能、合、難、爲、強、証、村、水、能、新、川、石、能、申、録、以、列、之、通、申、設、札、好、者
 申、設、石、川、能、河、水、能、二、月、曾、之、御、場、一、年、申、五、十、中

賞

- 一 二拾貳分、貳分、之、重
- 一 三拾七貫七拾六分

享保十年、許谷野用水、力、申、利、定、打、通、刊、法、
 九、拾、貫、同、百、石、波、能、高、注、言、拾、七、貫、貳、百、拾、
 九、百、三、分、之、重、同、三、年、拾、中、年、拾、次、新、水、申、
 享保十年、分の、情、申、混、言、他、新、混、言、以、氏
 享保十年、春、林、森、交、言、百、石、拾、中、分

- 一 三拾七貫五拾八分、二重
- 一 拾、四、年、九、分

享保十年、上、在、日、六、年、之、拾、止、分

武貴部百拾月

享保十年若石野兼之合新村用水為出
浪該部百拾月通用浪九拾貴百拾月
之八層浪浪門三年拾年三拾浪
作月享保十年延津之在浪言他新浪
而之氏

武拾部百拾月

六分五厘

享保十年藤波部之用水言為武部善
清中入用浪

ノ 武拾部百拾月

拾月

口言言言拾月言言言 享保十年上名是月十年之拾上分

享保十年分藤波部高打浪拾月

享保十年正月

田中村 首右邊

戸部村 又右邊

性生村 仍右邊

苗路村 久右邊

和名村 首右邊

高尾村 長次郎

沖波

沖波

賞

白銀貳百肆拾肆枚
一九貫九百七拾壹文

右等銀子係在人之未後私賣之文正十名及件

享保六年二月

新丁浪

能登銀子名村

八市急湯

石川銀村井村

与三七島

河津銀南敷村

金名進

孫治銀戶出村

又右進

村水銀津橋村

宅助

新川銀了之宮村

十右進

藤原銀三階村

保右進

羽原銀坂村

孫右進

風丸銀大浜村

美右進

藤原銀藤原村

恒才

寺西基雲出辰
弓剛長右史辰

賞

一子百七拾員或更

新茂

右所領國中村百姓之被災民之身更之人之被後十所存

宣統元年正月

右一人之名

他概不

了剛也右手殿
右西場右右殿

賞

一五百員拾元

能勇殿

一七百員拾元

右門殿

一四百員拾元

河小殿

一九百員拾元

孫德殿

一四百員拾元

村水殿

一八百員拾元

新門殿

一五百員拾元

口殿

一五百員拾元

自勇殿

一子百員拾元

能勇殿

一拾八元

賞

右以下所列各人

宣統元年正月

右一人之名

其御領領人御沖手書上之成り為高村之領領人御手書上之成り御就
之田井村井出書人御手書上之成り御領領人御手書上之成り御領領人御
之方より御領領人御手書上之成り御領領人御手書上之成り御領領人御
林上御手書上之成り御領領人御手書上之成り御領領人御手書上之成り
御手書上之成り御領領人御手書上之成り御領領人御手書上之成り御領領人御

二月十日

沖手書上之成り

書人 伊之橋

追手書上之成り御領領人御手書上之成り御領領人御手書上之成り御領領人御

新浅吉場百目御手書上之成り御領領人御手書上之成り御領領人御手書上之成り
書人御手書上之成り御領領人御手書上之成り御領領人御手書上之成り御領領人御

御領領人御手書上之成り

子書上之成り御領領人御手書上之成り

代御領領人御手書上之成り御領領人御手書上之成り御領領人御手書上之成り

大田石打御手書上之成り
御手書上之成り御領領人御手書上之成り御領領人御手書上之成り御領領人御手書上之成り
御手書上之成り御領領人御手書上之成り御領領人御手書上之成り御領領人御手書上之成り

中橋村之石

能原郡石川郡 河内郡 日部

奥郡

賞

一五目

也百目

年ノ年給浪

山廻人ノ也

五目

五目

前小指

五指

拾五分

五分五分

吉ノ音三拾五分五分

升八拾五分三厘

合七拾四分五分五分

二月十日

伸 留

筆紙書抄柳袋場山度老五物

壹ノ高ノ音拾五分五分 十二ノ音拾五分五分

水原清在處
中 孫無敵

一所用之身面之代大山形新所一長成府分扱者之十村中分扱出
り者身代筆と形向端總一宮系十所用と京とも自介し調不
十身様是日御と進了具又所用身与百身(長成)者又調扱出
り者身も筆系之十少の七筆系仕道為為体林と年亮束
之者其其之身と神

一七と取大身と自代とも所用之京と長成在ふ能右と様と為ふ持と
之に新系と自代扱ふふ身の内と取もこの者より一七と在取と

己身習すらる老筆と身と之も扱筆扱と取との者と申
七と取この者取身より代と所用身身合十御日様定とおめり
咄と付合お仕分扱出十少様と様と之と様と身所用身何と申
正身様様と之と代と統と取と之と取と申と之と八と之と之と格
とお考古あまの取名所用と之と之と取と者考と之と様と之と
隨分と之と取と取と格と急と之と格と之と取と之と

三月十日

水原清在處

中 孫無敵

所考 長系 出以所 么古也 与古也

為濟中是法家死之命法遠下為台如極中村者之命也

一 所製の...

一 所製水之其身之風俗見身隨分是上の仕事

一 所製水所用之北止宿付分業大根之也業上住御百姓貴

不中極之仕折寄同前也者之好也折寄之志を心て之

附申百の一長成の宿付大根をくまじ之志を心て何と

之方合り物の一汁一菜之の仕

一 常之所用之虫付分世傳并若者大出別之為虫物一の

年寄之も何んた加の宿付之系一之虫付止り百の何と

一 所製水之其身之風俗見身隨分是上の仕事

一 所製水之其身之風俗見身隨分是上の仕事

法外之仕裁者之也十村の何成之申

一 所製水之其身之風俗見身隨分是上の仕事

百姓之存不不所改之利水之虫申百尺を之の申

附村之利水等之魚之宿付之也

別之各水之入之好之也地も出る春之也

一 所用速之宿之虫付分世傳并若者大出別之為虫物一の

此方所用之虫付分世傳并若者大出別之為虫物一の

此方所用之虫付分世傳并若者大出別之為虫物一の

沙汰に附く糸を極に強者とし仲買し申す旨意を具見
仕の申す一化業に多事内は必用迄万端持込より極この仕は春
より混田亦天子達方消百の荒れ必三田を浅く打又も
極中をよき極のせを荒白の如加減能く出くさう極
の仕明通の物出何れく僅すとの水持を友何その物も多
西揚の清水を又所地も何れ乃物も申仕地も者り春に
草原原も多り原に出持も多るけす原も所も多
此程千程八年の申買り多り也と追然り近年多
書に依り用多る極す十極心を二十田に表す一極

而障り多き所は極に多しと義成者も春にけし草に二十程
こらふ一火各中程を川系をわたり地も多し出深く成り極この仕一原
美に極有書仕多中打り美仕理わく也と極この仕は極
大化仕多る多州橋三ヶ一川志を乃橋三ヶ志の連橋三ヶ一州
各古来から信は太極仕之風雨を極多し難を此のれ干は十付分
ふ過をよ成り有原に近す多き極も多し隨分多き也と人
賞千換に極多し仕は杉中か水も内橋採集とい一この申す
より二十す一の申買り多し動極も多り方と傷家来すとの也
い一なるがごとく極採成り言動採わら者り申極隨人

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

一七月未言出所改作所奉約指所出列府為菊池遠角指の江
二所預不在勘定内所用の年大漁村太左島江戶人持せり
太左島在江中其方持加り廻り出島一丁七之住居より組同
事一長より一の長と又更に後出所記す
戸出村太左島

太左島村太左島在江中廻り出島其方一丁七之住居九村太左島中
十後のおまゝ

年七月未言

改作所記 下

戸出村

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

大瀧村大田島在戸中迄能支能其方と十有八条戸出并去
官地村長次郎了治の申入

辛七月廿六日

改修の事

大瀧村 三節三海

一今右新山清丸部右馬及御貸の家御門の内けたを左手十有八
是御申上出お山との申すは所は右馬及へけたを左手十
有八右新山清丸部右馬及御貸の家御門の内けたを左手十有八
一右馬及の申すは所は右馬及へけたを左手十有八

げたを左手十有八と申すは所は右馬及御貸の家御門の内けたを左手十有八
右馬及の申すは所は右馬及へけたを左手十有八
右馬及の申すは所は右馬及へけたを左手十有八
右馬及の申すは所は右馬及へけたを左手十有八
右馬及の申すは所は右馬及へけたを左手十有八

大瀧村 辛七月廿六日 改修の事

大瀧村 大田島

[Faint, mostly illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.]

先以... 於... 於... 於... 於...
而... 於... 於... 於... 於...
活... 於... 於... 於... 於...
消... 於... 於... 於... 於...
... 於... 於... 於... 於...

丙午

京子保土...

奥行日記

中川...

本多...

今段...

長 九世迄下

村井 三任下

幸多 安房下

國丹 伊豆下

之向 上野下

之向 信濃下

日向 上野下

日向 大願

抄 兵部尺

今年年所領國十郡其他名在史書統之年、中平より第一志之元年

の政方の位に御影千村也今年勢子と入流紀より情をみ出桂舟

のあつ水無き名みけの浦化の極あり中平十村又一區の政入の向極

今年、括式子と入流紀より情をみ出桂舟の草體にあり中平十村

勢子と入流紀より情をみ出桂舟の草體にあり中平十村

在来の上月中を限り之入三抄年必あり之に改化方の中括寄海日

切に之候三月廿九物と中福の位十村の極寄是越中の中福より十月廿

と候了毎年為及寄海御影千村也今曆所寄村極十村也義經寄

之の極に候了乃り中平前亦大功存中法を急急中守心候より

納十袋... 通... 八月... 成... 代... 友... 總... 張... 通... 以上

年八月
八月...
別...
菊...
山...
以上

名...
大...
橋...
坂...
中...
加...

能...
平...
中...
平...
中...

河内縣 冲接持人
平十村

橋渡縣 冲接持人
平十村

射水縣 冲接持人
平十村

新川縣 冲接持人
平十村

羽後縣 冲接持人
平十村

尾道縣 冲接持人
平十村

風多縣 冲接持人
平十村

海例縣 冲接持人
平十村

今般冲乃書名高部海部冲也
冲也納米十月嘗之限皆深之仕其
上守高部新嘉持家之冲也
何也持家平孫平孫其冲也
急安為平孫也其冲也
一統持家之冲也

一 例年冲也納米皆深土月也
子代每年之冲也
後身之冲也
才方夫之冲也
後身之冲也

也其無利之者一而為非なり平百數者皆平後

一、其代米見在時分能と米とこわ一、目拂、米と名月、其代

とあり引、其代、其代、一向、其代、其代、目拂、と、其代、

斗、其代、目拂、其代、時分、目拂、其代、其代、其代、其代、

石、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、

子、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、

斗、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、

と、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、

拂、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、

其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、

其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、

其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、

其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、

其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、

其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、

其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、

其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、

其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、其代、

一米善悪見在分折交り年立非移定一穀也二付分三伏
前四穀をありて是穀五の向平六穀たて七二向八色九米一〇は穀一一の向一二水
り一三極一四に下一五去一六悪一七逆一八味一九を後二〇折二一交二二り二三の二四結二五米二六穀二七の向二八穀二九也三〇
米良百粒りある一斗三一一斗

一或投一とち斗二造三と交四前五とち斗六代七を方八お九後一〇上一一造一二とち或一三投一四とち
必一五下一六御一七米一八造一九と向二〇を通二一り二二斗二三極二四は結二五米二六の向二七年二八の向二九極三〇と多三一藤三二相
成三三造三四とち造三五と結三六米三七通三八り三九極四〇は結四一米四二の向四三後四四也四五古四六例四七上四八造四九結
也五〇斗五一米五二如五三斗五四一斗五五極五六の向五七年五八

一斗米一造二り三の向四分五穀六とち斗七米八二向九通一〇り一一斗一二米一三の向一四後一五

一筆一毫二の向三造四り五とち斗六米七造八り九極一〇の向一一年一二の向一三極一四と多一五藤一六相
成一七造一八とち造一九と結二〇米二一通二二り二三極二四は結二五米二六の向二七後二八也二九古三〇例三一上三二造三三結
也三四斗三五米三六如三七斗三八一斗三九極四〇の向四一年四二

一別紙一にありて五香二と水三牙四被五是六不七結八とち斗九米一〇の向一一後一二也一三古一四例一五上一六造一七結
也一八斗一九米二〇如二一斗二二一斗二三極二四の向二五年二六

一今一年二皆三御四義五十六月七御八也九斗一〇于一一後一二る一三向一四の向一五年一六の向一七極一八と多一九藤二〇相
成二一造二二とち造二三と結二四米二五通二六り二七極二八は結二九米三〇の向三一後三二也三三古三四例三五上三六造三七結
也三八斗三九米四〇如四一斗四二一斗四三極四四の向四五年四六

一斗一米二造三り四の向五分六穀七とち斗八米九二向一〇通一一り一二斗一三米一四の向一五後一六也一七古一八例一九上二〇造二一結
也二二斗二三米二四如二五斗二六一斗二七極二八の向二九年三〇

一斗一米二造三り四の向五分六穀七とち斗八米九二向一〇通一一り一二斗一三米一四の向一五後一六也一七古一八例一九上二〇造二一結
也二二斗二三米二四如二五斗二六一斗二七極二八の向二九年三〇

とて代官中徳相の官を承て按察使を浪平亦百姓相を
子代官之使分仕易く中徳相者之使從之とて中徳相
中法之急を曲申すこと中徳相より孫向徳相に承て譯り承
弟相の孫子代官の官を承て中法相

一 諸代官の官承て名付人の相承りて中法相 畢竟中法相又中
相之官承て分承りて中法相又中法相承りて中法相又中法
と中法相承りて中法相又中法相承りて中法相又中法相承りて
加振る中法相承りて中法相又中法相承りて中法相又中法相承りて
中法相承りて中法相又中法相承りて中法相又中法相承りて

中法相承りて中法相又中法相承りて中法相又中法相承りて
中法相承りて中法相又中法相承りて中法相又中法相承りて
中法相承りて中法相又中法相承りて中法相又中法相承りて
中法相承りて中法相又中法相承りて中法相又中法相承りて
中法相承りて中法相又中法相承りて中法相又中法相承りて

吉原保土年八月

御幕用場平

孫徳相承りて中法相

十村中法相承りて

中法相承りて

中法

本文の中法相承りて中法相又中法相承りて中法相又中法相承りて

交平路の老を後之師被持人此化を以て其の如く其の如く
 執之師此化 師法遠を百姓に教ふ事、其の如く、其の如く、其の如く、
 持人此師代其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、
 其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、
 以上も其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、
 其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、

覚

一 此代官其師、此代其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、
 其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、

一 此代官其師、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、

一 此代官其師、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、

一 此代官其師、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、

一 此代官其師、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、

一 此代官其師、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、

一 此代官其師、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、

一 此代官其師、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、

一 此代官其師、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、

一 此代官其師、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、

去りしやうと兼持といふ。目拂並多し百姓連感いなきよし
在りしを平定たりし事。

一百姓の銀子多し諸君自分と米と花納と在りて申す

一申すは穀交見在りて二のありしは子立方とてそのか成る事

一花納滞り米よるといふ。百姓方とて之納に十村とて其

上は滞りし事。此は百姓の事なりて其申す事。

一此代官付村と寄附し事。此は花納付米者數一紙目録に記す

一子年

一此は花納のいふり。是定年とて何付凡とて入米換

一此は花納の仕付り。雨もり米者といふ。此是上とて申す

一毎年大坂に去りて。此は花納の事なり。此は花納の事なり。

一此は花納換り方とて。此は花納の事なり。此は花納の事なり。

一此は花納の事なり。此は花納の事なり。此は花納の事なり。

一運賃米とて。此は花納の事なり。此は花納の事なり。

一此は花納の事なり。此は花納の事なり。

一此は花納の事なり。此は花納の事なり。

寛文四年七月日

御業用場

子細に弟好前宮と名と花宮共中後好前宮と名と弟を好前宮
宗親と名と百地と名とを宗親と名と傳分仕事と名と沙汰
かよへけ後宮と名と御所也 御法と名と罪科と名とるる向後宗
親と名と孫と名との中後好前

一宮子孫中後好前と名と古来の御所と名と多くと伝事と名と也
たての孫子も名と好前と名と宗親と名とある古御所と名と夫
新御所と名と後好前と名との中後好前

尤も御所と名との中後好前と名と御所と名とあると名と百地と名と及後を
孫の中後好前と名と宗親と名とあると名との中後好前と名と又名と好前

子細に御所と名にも花宮宗親と名と足利府分能と名とあり
御所と名とあると名と宗親と名とを御所と名とあると名と花宮と
名との中後好前と名との中後好前と名との中後好前と名との中後好前
と名との中後好前と名との中後好前と名との中後好前と名との中後好前

享保十二年八月

御筆用場

大後好前と名 御所國中と名と宗親と名と傳分仕事と名と沙汰
り宗親と名と御所と名とあると名との中後好前と名との中後好前

享保十二年八月

御筆用場

後波野村の御新川

十村の御主人

平十村 共

覚

一 寛文年中御定書之旨書通

一 享保九年御觸書之旨書通

一 享保九年御觸書之旨書通

一 御觸書之旨書通

大江通御觸書之旨書通

至十村之旨書通

岩太守書付之旨書通

仲之御書之旨書通

仲之御書之旨書通

右取次御書之旨書通

御書之旨書通

享保十年九月

田中 之ノ女 性生 苗治 如家

宗九 中回 大西 三信 金尾本左

内崎 大崎 徳心 山梨 松本新助

山崎 十右衛門 沼川 招止

才加富の毎日録を以て借しりて御荷物出先富へ送る事致し奉
付合ふ迄の事致しりて大に格を以て之に加富の借る不仕務事也
年ハ万那費也毎日の事致しりて御荷物出先富へ送る事致し奉
在加富の者也毎日の事致しりて御荷物出先富へ送る事致し奉
中富の事致しりて御荷物出先富へ送る事致し奉
用お事致しりて御荷物出先富へ送る事致し奉
之を以て御荷物出先富へ送る事致し奉
免御定を通り致しりて御荷物出先富へ送る事致し奉
御定を通り致しりて御荷物出先富へ送る事致し奉

享保十一年八月

孫傳部

御持持人十村

新水部

口 弘

中孫 監度

永永 監度

賞

一喜 分 分

金右衛門兼高國に借しりて御荷物出先富へ送る事致し奉

享保十一年八月

右御上下の別と名致しりて御荷物出先富へ送る事致し奉

傳りて其富不足は之に如富之方其借之尤如富之是也右同奉
所用之正也其富不足は之に如富之方其借之尤如富之是也
右伝代りて其富不足は之に如富之方其借之尤如富之是也
其後りて其富不足は之に如富之方其借之尤如富之是也

一 右伝代りて其富不足は之に如富之方其借之尤如富之是也
借りて其富不足は之に如富之方其借之尤如富之是也
右伝代りて其富不足は之に如富之方其借之尤如富之是也
其後りて其富不足は之に如富之方其借之尤如富之是也

一 加富伝代りて其富不足は之に如富之方其借之尤如富之是也
少くは世に其富不足は之に如富之方其借之尤如富之是也
右伝代りて其富不足は之に如富之方其借之尤如富之是也
其後りて其富不足は之に如富之方其借之尤如富之是也

享保十一年九月廿七日

- 定物 三高松 五高松
- 油 三高松 五高松
- 傷七也 么七也 七高市

中 孫 忠 辰
永 承 信 辰 辰

今年諸師代官申 所統物年之變 及所方并所之所統完納
并所方所統重之 所後之且又所那之村 定化管改給之 及所年
也 所之在後之 一也 所承者之 所今之 所改納年之 及所之 所
是 所年見合之 所成之 所官所統物人 兼十村中 其方之 所之 所
之 代官之 所統物 所重之 所とくと 所後之 所重之 所一也 所之 所端 大小之 所此
又 所此 所任 所志 所甚 所也 所而 所改之 所中 所他 所法 所別 所之 所因 所之 所也 所之 所急 所交
所改 所亦 所為 所斗 所一也 所一也 所年 所か 所と 所あ 所く 所と 所一也 所之 所を 所統 所之 所十 所村
所改 所之 所其 所成 所之 所官 所之 所急 所交 所之 所之 所再 所世 所承 所之 所也 所年 所一也 所之 所官
所改 所之 所

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

享保十一年十月

別所忠之齋

菊田逸角

山東氏

高島

大塚

加賀

稻垣

松井

加筋徳而鐵

十村

平

一 琉球芋赤芋来春近折根之憂 濕氣多と土厚之穴を掘

砂之糲を合穴之底に敷其上、芋を落し其上、又大砂糲

を芋に隠し根を廣げると又芋をあると又別二穴を掘る

穴之上に糲を厚く砂糲の上、其重多し廣げ道をなす

之と常根すまひ付ふ多法度又、ある自家よりりて

ある穴を掘埋之は能く之中より而、之の生れし

者、然所為書とす

年十月晦日

大塚村

又大塚

大塚村

賞

二百拾字分八厘

出持持人十村世世村
偽在蓋

上下三年三月十日廿五日廿七日廿九日廿十日廿一日廿二日廿三日廿四日廿五日廿六日廿七日廿八日廿九日三十日

二百拾目三厘

出持持人並十村下桑村
赤市

上下三年三月十日廿五日廿七日廿九日廿十日廿一日廿二日廿三日廿四日廿五日廿六日廿七日廿八日廿九日三十日

二百拾七字分四厘

出持持人並十村下桑村
緑三條

上下三年三月十日廿五日廿七日廿九日廿十日廿一日廿二日廿三日廿四日廿五日廿六日廿七日廿八日廿九日三十日

二百拾字分五厘

出持持人十村世世村
宛並

上下三年三月十日廿五日廿七日廿九日廿十日廿一日廿二日廿三日廿四日廿五日廿六日廿七日廿八日廿九日三十日

合言百拾字分八厘五厘

右所記 出持持人並十村下桑村
赤市
出持持人並十村下桑村
赤市

享保土年三月六日

出持持人並十村下桑村
赤市

小倉恒也及

関屋依兵衛及

太三郎子史水左衛門之

南田庄角平
上庄
山山年七印高

今年年化毛也。殊月前之。法那所貸米。以年高多。水之
近上。為政了。子。為天。今年。去化。會。米。上。仍。相。多。者。之。加
右。年。高。多。水。之。高。一。百。姓。少。少。母。之。成。來。年。化。乃。仕。入。中。
右。邊。了。十。分。也。者。之。月。百。姓。代。上。之。搭。忘。却。仕。た。め。之。新。也。
を。法。那。所。相。持。人。之。家。遂。法。那。別。紙。之。通。為。持。上。也。中。由。上。書。
曲。法。之。以。形。形。不。了。之。年。之。或。ハ。不。之。先。捨。之。通。之。引。之。少。振。

中。法。那。所。求。之。正。一。年。也。遂。肯。仕。我。也。年。之。神。妙。成。仕。方。前。去。
右。年。化。毛。不。多。也。仍。水。要。脚。以。持。上。之。能。子。也。仕。年。之。法。那。所。
債。候。之。内。壹。万。五。百。石。正。上。之。仕。候。書。上。也。ハ。而。法。年。高。多。水。成。
候。ハ。所。憐。憐。也。之。所。候。を。右。之。正。上。年。近。行。一。の。仕。由。也。所。候。ハ。
也。新。之。之。振。也。も。有。之。り。力。之。年。中。貸。米。近。上。之。或。ハ。所。用。捨。
子。新。之。所。候。也。之。天。之。方。申。法。那。之。通。近。上。之。或。格。之。也。也。也。
ハ。法。年。所。持。式。也。勿。之。子。之。振。也。末。之。也。之。天。也。也。也。也。也。
害。之。成。中。法。也。年。之。知。也。年。之。義。年。之。也。右。之。法。那。所。相。持。人。
也。十。分。也。所。候。法。年。神。妙。之。也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。

丙午
三月廿一日

別所忠之坊下 菊田逸角下

木梨丸左馬下 山本氏左馬下

方島持左馬下 大塚強五左馬下

加多右助左馬下 稻垣信左馬下

板井氣左馬下

田井村次郎下

津橋村左馬下

村井村左馬下

大白石村左馬下

藤井村左馬下

大石人判

右の段向指上在は為入此の急難有仕合下

賞

一 壹分五分

今右東并高岡二ヶ所十段代在る事文一日不用
加多右助一 望之

右御上下之御仕名動言是定有之日通言兼此道申上は持也

右御仕名動言是定有之日通言兼此道申上は持也

用言此を交す身加定は持りる事年寄之是之介ハ本宿兼加定大

右御代り言御仕名動言是定有之日通言兼此道申上は持也

身御代り言御仕名動言是定有之日通言兼此道申上は持也

後之指 此の事

一 右段馬代ハ本宿兼此道申上は持也

一 相諾中身寄拂おとし入用を了かきし限と云ハ新義信之旨
事年ハ在諾中法代りる之旨ハ何物も附不中氣あてかき海し之外
結實取返り給へ給へり

一 加高法代りる之旨ハ本寄の結實かき返しおとせ給へ給へり
以下ハ在諾中身寄拂おとし入用を了かきし限と云ハ新義信之旨
事年ハ在諾中又何寄法代りる之旨ハ何物も附不中氣あてかき海し之外
結實取返り給へ給へり

享保十一年九月廿七日

宅助之齋

在寄 孫三齋
賞金 又左齋
傳書 久左齋
表布 長次郎

申 孫三齋

永原法右衛門

御用守役人十村の義育尚十九日酉にお橋北出の橋に十段と
 田中村是れを戸出村又右海和泉村是れ市金店と云ふは何處に
 お橋に云ふは其の所を合す者十九日にお出りお出り
 之は尺取の所を合す者十九日にお出りお出り
 此の所を合す者十九日にお出りお出り

二月十日

申 強出
 永承法大馬

廿五日
 信右馬方一

戸出村平村 戸部在

杉本新河不動 源 物

福地村川 源 物

井波河 源 物

日所 源 物

福地村和泉 源 物

口新 源 物

福河 源 物

右之志 所用之 糸高十寸 長出 糸 二寸 淨之 面之 尺代 七寸 務地

三月七日

永原信在

申 孫 函

望村信在 和泉村 市 高丸村 市

三信村 市 芳原村 市 重丸村 市

田中村 市 戸 出 市

去年 永日 思 軍 換 村 在 之 年 法 依 米 之 寺 據 由 高 能 兵 於 備 備 新 村 水 部 新 川 部 法 據 持 人 并 十 村 之 市 市 街 市 高 伏 下

坂井 知右衛門

島田 隆文

出賃 中村氏平次

純貞 齋藤 計次郎

北川 紀 古村 祐人

十 村 中

一 大申 通 家 化 抄 申 御 遂 吟 味 小 敷 抄 極 而 甚 傷
と 道 程 通 へ 爲 せ 申 承 家 治 意 下 志 召 申 承 意
急 家 化 抄 申 使 申 承 純 貞 以 爲 申 承 意 申 承 意

本 抄 叙 十 卷 申 承 意 申 承 意 申 承 意 申 承 意 申 承 意
之 後 申 承 意 申 承 意 申 承 意 申 承 意 申 承 意
味 何 以 申 承 意 申 承 意 申 承 意 申 承 意 申 承 意
十 卷 申 承 意 申 承 意 申 承 意 申 承 意 申 承 意
編 抄 申 承 意 申 承 意 申 承 意 申 承 意 申 承 意
志 申 承 意 申 承 意 申 承 意 申 承 意 申 承 意
一 極 根 也 申 承 意 申 承 意 申 承 意 申 承 意 申 承 意
申 承 意 申 承 意 申 承 意 申 承 意 申 承 意 申 承 意
御 承 用 場 申 承 意 申 承 意 申 承 意 申 承 意 申 承 意

堂公後之... 遂後... 水... 林...
亦... 孫... 山... 中...

一而... 持... 山... 孫... 山... 中...
亦... 孫... 山... 中...

右... 孫... 山... 中...
亦... 孫... 山... 中...

孫... 山... 中...
亦... 孫... 山... 中...

孫... 山... 中...
亦... 孫... 山... 中...

孫... 山... 中...
亦... 孫... 山... 中...

孫... 山... 中...
亦... 孫... 山... 中...

孫... 山... 中...
亦... 孫... 山... 中...

孫... 山... 中...
亦... 孫... 山... 中...

法有初化... 分佈上... 御算用場

二月廿日

永系信右馬及中孫

右大社初化... 御算用場... 御算用場

二月廿日

永系信右馬及中孫

賞

二百五拾八

御算用場

右御算用場... 御算用場

德經中村名

一 花宿共強り、床津流又、名尺取、其、得、今年、之、新
 米、花、宿、大、人、方、に、持、出、し、た、也、人、才、事、也、其、其、定
 乙、尺、他、と、る、別、事、也、其、文、能、別、代、調、也、其、以、通、り、未、く、後、方、
 乙、達、當、也、病、下、一、形、状、事、也、其、探、持、出、給、也、花、宿、尺、之、の
 寸、取、
 一 有、之、取、有、事、年、之、形、米、言、新、米、向、調、所、是、又、事、又、持、出、
 日、米、又、之、通、り、何、可、達、持、出、至、人、之、年、持、出、也、新、米、向

白、水、給、之、寸、取

一 福、是、松、木、新、所、井、波、所、福、也、村、花、宿、尺、形、米、一、月、也、後、也、
 書、記、花、宿、人、大、尺、加、判、也、許、寸、村、尺、尺、月、也、及、別、寸、也、
 米、言、米、持、出、尺、之、事、也、向、水、取、羽、月、朔、一、日、也、尺、言、尺、月、持、出、
 月、可、持、也、
 一 所、之、花、宿、人、米、取、後、丁、持、出、人、才、持、出、也、尺、言、尺、寸、也、寸、言、
 何、人、才、押、也、尺、言、尺、寸、也、尺、言、尺、寸、也、尺、言、尺、寸、也、尺、言、尺、寸、也、
 持、出、給、之、寸、取、
 一 給、人、才、判、也、尺、言、尺、寸、也、尺、言、尺、寸、也、尺、言、尺、寸、也、尺、言、尺、寸、也、
 尺、言、尺、寸、也、尺、言、尺、寸、也、尺、言、尺、寸、也、尺、言、尺、寸、也、

以請人

論

一、
二、
三、

一、
二、
三、

願、狀、給、人、才、家、書、個、紙、文、照

書、者、之、身、拂、才、亦、誤、以、外、別、我、揚、引、子、之、由、上

何、之、誰、判、也

但、謝、札、也

後、人、才、名、之、下、判、也、之、改、答、之、文、何、を、判、別、也
と、改、答、之、文、何、を、判、別、也、と、改、答、之、文、何、を、判、別、也

賞

一、諸、部、拾、五、十、年、以、前、新、宗、免、升、之、免、ハ、去、之、辰、之、年、改、本

免、之、免、下、又、ハ、此、後、十、之、者、之、右、之、由、也、ハ、上、之、由、也、ハ、分、也

承、知、之、免、相、引、ハ、年、是、一、免、下、也、古、以、下、之、免、相、引、也、今、

年、也、之、年、之、免、也、ハ、十、升、ハ、未、末、之、年、ハ、年、承、知、之、由、也、

ハ、免、也、之、免、ハ、未、末、之、年、承、知、之、由、也、ハ、免、也、之、免、ハ、未、末、之、年、承、知、之、由、也

年、八、月、未、末、日、田、井、村、改、申、者、及、村、井、村、之、右、無、及、ハ、由、何、

ハ、之、辰、之、年、免、也、之、免、ハ、未、末、之、年、承、知、之、由、也、ハ、免、也、之、免、ハ、未、末、之、年、承、知、之、由、也

昔、年、也、之、辰、之、年、免、也、之、免、ハ、未、末、之、年、承、知、之、由、也、ハ、免、也、之、免、ハ、未、末、之、年、承、知、之、由、也

牙午下...

九月十日

诺者官九月

十月

伊高

又其... 伊高

诺者... 伊高

... 伊高

... 伊高

... 伊高

... 伊高

九月十六日

田井村...

诺者

田井村...

伊高

田井村...

诺者... 伊高

... 伊高

... 伊高

... 伊高

... 伊高

今御勘當縁法五方丈柳の山後ハ方丈ハ了年此致書
芋流球芋一應平ノ為斗色芋ノ介者廿三〇四〇也
此係山宅近為山ノ一ノ成を後平ノ志ハ信水ノ
コノ色道申一痛換ノ一ノ成を了年ハ是来法
芋並平ノ也ノ一ノ成を了年ハ是来法
此係山宅近為山ノ一ノ成を後平ノ志ハ信水ノ

十月十日

平 彦村又志

信左馬娘 全志馬娘 云平馬娘 源左馬娘
与左馬娘 加高馬娘 与平馬娘 与平馬娘
平 彦村又志

平 彦村又志

若平馬娘の殿山廻收ノ成折成也仕方此平馬娘
十月十日

永平信左馬娘

山後平人十平

賞

一宮方浦守兼打ノ山宅又百姓情ノ此係平馬娘

市價固より成布を打所美と申すなり故に大に成位
相違なきことと書月を成悴子と云ふ其親戚の家
とありて在りし何れと云ふも情合と云ふも在りし
十村におきし已知りし西条大の成りし成位と云ふ
ありしなり

一 控りし成りし成位と云ふなり少く成位と云ふなり
者ありしなり成位と云ふなり成位と云ふなり成位と云ふなり
二 四りし成りし成位と云ふなり成位と云ふなり成位と云ふなり
成位と云ふなり成位と云ふなり成位と云ふなり

一 寺に成位人等と云ふなり成位と云ふなり成位と云ふなり
成位と云ふなり成位と云ふなり成位と云ふなり成位と云ふなり
成位と云ふなり成位と云ふなり成位と云ふなり成位と云ふなり
成位と云ふなり成位と云ふなり成位と云ふなり成位と云ふなり

一 金持の成りし成位と云ふなり成位と云ふなり成位と云ふなり
成位と云ふなり成位と云ふなり成位と云ふなり成位と云ふなり
成位と云ふなり成位と云ふなり成位と云ふなり成位と云ふなり
成位と云ふなり成位と云ふなり成位と云ふなり成位と云ふなり

培之寤之... 一掃... 個...

右... 形... 持... 此... 亦... 丁... 丁...

丙午
三月二日

申 孫

少...

...

佛... 在... 築... 向...

お迫代か海もい多しり外又ハ枝葉少根より管所折分
外葉細葉後若者後多しと云葉及新ハ根より生
し海の上習かぬ多し此少根あるは監成中又山道後者大
況分下此又ハ脇分古習し其村所葉後分此列合隠至
中又ハ葉多し葉多葉後分中分古習し其葉多し中後ハ
一節根分あるは七本より葉少根多し此少根多し其
更ハ人より高葉多し其葉多し其葉多し其葉多し其
後ハ中分より少根多し其葉多し其葉多し其葉多し其
若者中分より少根多し其葉多し其葉多し其葉多し其

若者中分より少根多し其葉多し其葉多し其葉多し其
し右切より葉多し其葉多し其葉多し其葉多し其葉多し
少根多し其葉多し其葉多し其葉多し其葉多し其葉多し
又了後

折し海分より少根多し其葉多し其葉多し其葉多し其
若者中分より少根多し其葉多し其葉多し其葉多し其

一寺社分折し其葉多し其葉多し其葉多し其葉多し其
オハ葉多し其葉多し其葉多し其葉多し其葉多し其葉多し
其葉多し其葉多し其葉多し其葉多し其葉多し其葉多し

自批改一稿右多有一一亦有一七亦有一一又有一一又有一一又有一一

...

...

...

...

...

丙午

三月十日

申 孫 也

...

近幸日蓮宗之表向...

...

...

...

...

...

...

...

其文此... 物... 出... 後...

丙午

二月十三日

本多安房守

横心大... 村

奥打伊...

永多...

中... 孫...

近幸日蓮宗... 信... 信...

十... 宗... 遠...

昔... 宗... 我...

法... 宗... 宗...

終... 儀... 宗...

世... 宗... 宗...

戸田...

中...

村...

成...

生...

永...

丙午
二月六日

奥村伊豫守様

拙山大和守様

本年多岐守様

近幸日蓮宗より表切の御士大石守流之御守之御向之
体是是風之御守之信作信信信之御守之御守之御守之
申之御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之
御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之
御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之
御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之

換少もも御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之
御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之
御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之
御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之

丙午
正月七日

中
御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之

御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之
御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之

御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之
御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之御守之